SONY

3-748-162-**21**(1)

Network Player Management Software

操作ガイド

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

BZNP-100 Version 3.00 and Later

© 2003 Sony Corporation

説明書の構成と関連マニュアル

この操作ガイドは、Sony Network Player Management Software BZNP-100 を、使用されるかたのために、基本的な操作をまとめたものです。
BZNP-100 は、ネットワークを通じてコンテンツをネットワーク プレーヤーNSP-100 に送信し、街頭でのコマーシャルや会社内の教育ビデオなどを送出するシステムを管理するソフトウェアです。
本操作ガイドでは、操作を行う前にどうしてもしなければならない設定についての説明と、簡単なデモ用のコンテンツを作成してネットワークプレーヤーに配信するための手順を、操作の順序に沿って説明します。
BZNP-100 には、この他に取扱説明書とオンラインヘルプが用意されています。どちらも同じ内容で、BZNP-100 のすべての機能が説明されています。
BZNP-100 を使いこなすために、オンラインヘルプまたは取扱説明書もぜひお読みください。

オンラインヘルプを見るには

操作中、キーボードの F1 キーを押すと、そのときにアクティブになっているウィンドウまたはダイアログボックスに関する情報（ヘルプ）が表示されます。
表示されている画面に関する操作の説明は、各ヘルプのタイトルの右にある「関連項目」をクリックすると、表示されます。操作説明全体の目次を表示させるには、ヘルプウィンドウのトピックボタンをクリックしてください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows XP、およびPowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- i.LINK は、IEEE1394-1995 およびその拡張仕様を示す呼称で、ソニー株式会社の商標です。
- その他、本書に登場するシステム名、製品名、会社名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、®、™マークは明記していません。

この説明書の表記

- 画面に表示される文字の書かれているボタンは、[ボタン名]のように表記します。
  例: [環境設定]、[新規作成]
- メニューからあるコマンドを選択し、さらにその下のサブコマンドを選択する操作を、「[コマンド名]>[サブコマンド名]を選択する」と表現します。

目次

操作ガイドの使いかた 3
操作の流れ 4
ソフトウェアの起動 4
ソフトウェアの環境設定 5
NSP-100 とグループの登録 6
動画素材の準備 7
静止画素材の準備 8
テロップ素材の準備 9
プレイリストの作成 10
プレイリストと素材の送信 12
転送状況と結果の確認 13
付録-1　映像のキャプチャー 14
付録-2　テロップの緊急再生 15
付録-3　ネットワークプレーヤーのステータスの確認 16

操作ガイドの使いかた

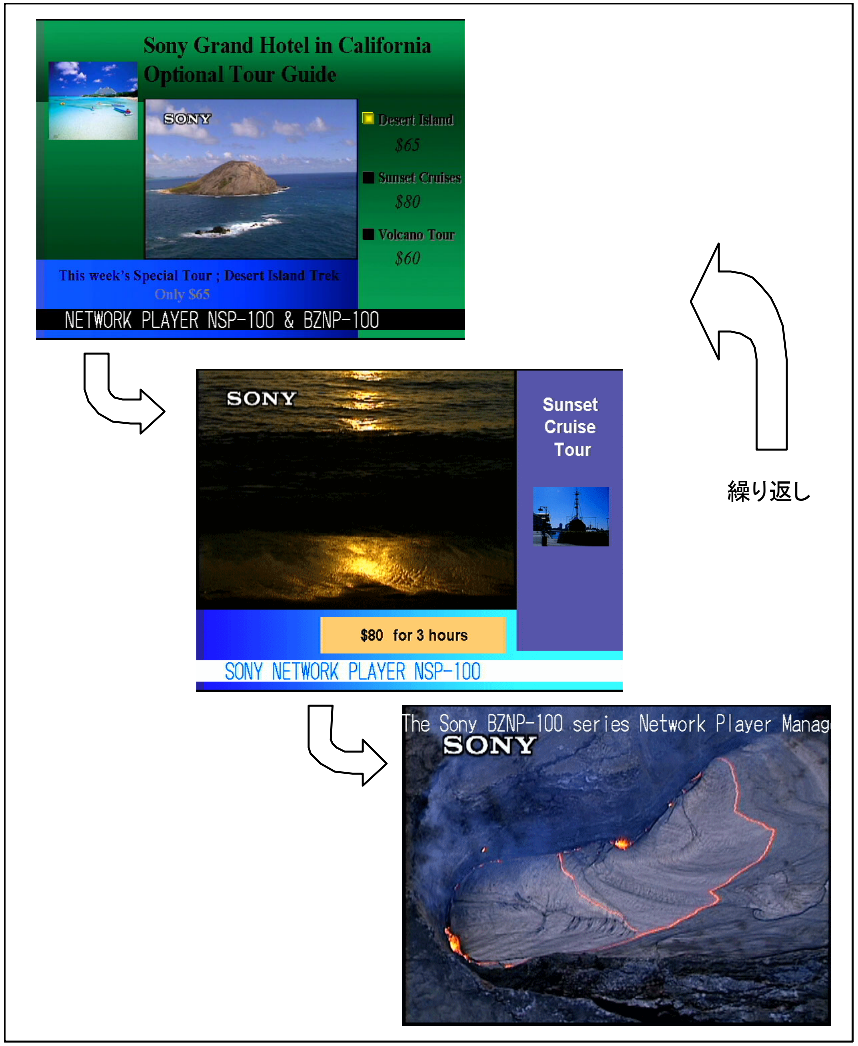
操作ガイドには、右側にあるような簡単なデモ用のコンテンツを作成する手順に沿って、ネットワーク プレーヤー マネージメント ソフトウェア BZNP-100 の基本的な操作方法が書かれています。このコンテンツは、下記の素材を使用して、ご自身で同じように作成してみることができます。素材のデータは、この操作ガイドに付属しているものを、BZNP-100 がインストールされているフォルダの下にコピーしてお使いください。

使用するサンプル素材:

- 動画
  Video_Sample_1、Video_Sample_2、Video_Sample_3
- 静止画
  Graphic_Sample_1、Graphic_Sample_2、Graphic_Sample_3
- テロップ
  Graphic_Sample_1、Graphic_Sample_2、Graphic_Sample_3
- プレイリスト
  Playlist_Sample

ここには、デモ用のコンテンツを作成、再生するために必要なファイルがすべてあります。
このマニュアルで説明されている操作では使用しないものもあります。
ご注意： この操作ガイドに使用している画面イメージの例は、NTSC のシステムでキャプチャーしたものです。

次のようなデモ用のコンテンツを作成してみましょう



操作の流れ

下の図は、街頭でのコマーシャルやデモ用のコンテンツを流す際の、システムの標準的な操作を示しています。
青色で書かれている操作は、この操作ガイドで説明されているものです。

ソフトウェアの起動
- ソフトウェアを起動する

設定（インストール直後）
- ソフトウェアの環境設定を行う
- 送出を行うネットワークプレーヤーNSP−100を登録し、グループを作成する
- NSP−100の設定を行う

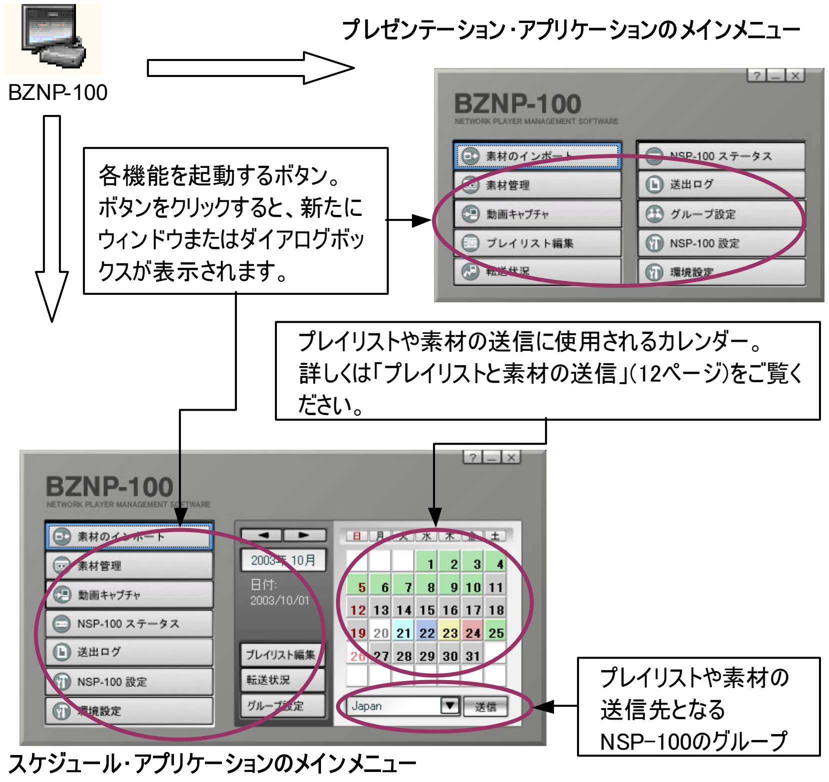
素材の準備（日常の操作）
- 素材を準備する
- プレイリストを作成する
- プレイリストと素材をネットワークプレーヤーのグループに送信する

送出
- （NSP−100での送出）
- 緊急再生

確認作業（必要に応じて）
- NSP−100のステータスおよびログを確認する

ソフトウェアの起動

Windows のデスクトップにある BZNP-100 のショートカットをダブルクリックします。
または、スタートボタンをクリックして、[プログラム] > [Network Player Management] > [BZNP-100]を選択します。
下記のどちらかのメインメニューが表示されます。
このメインメニューは、ソフトウェアが動作している間ずっと表示されていて、ここで該当するボタンをクリックすることによって、BZNP-100 のさまざまな機能を使用することができます。
ご注意: ご使用になるネットワークプレーヤー NSP-100 の電源も入れてください。

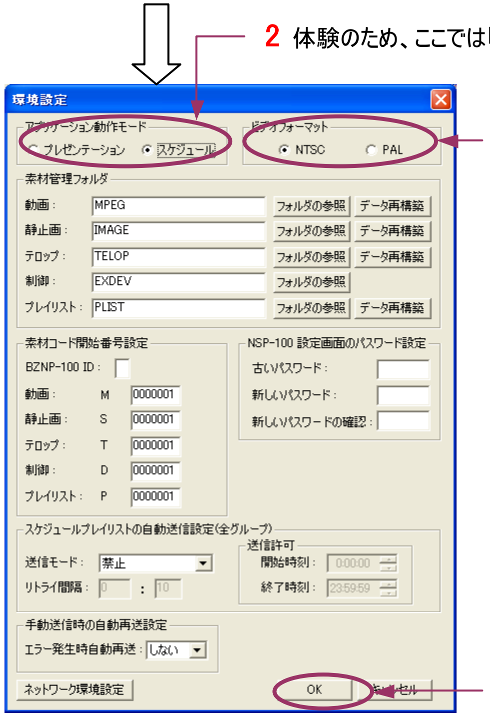


ソフトウェアの環境設定

素材やプレイリストを作成する前に、ソフトウェアの環境設定や NSP-100 の登録など、必要となる設定作業があります。
ソフトウェアに関しては、環境設定ダイアログボックスを開いて下記の項目を確認し、必要な場合は設定を変更してください。

1 メインメニューで [環境設定]をクリックします。

2 体験のため、ここでは「スケジュール」を選択します。



3 ビデオフォーマット(通常はNTSC)を選択します。

4 [OK]をクリックします。

ご注意: アプリケーション動作モードやビデオフォーマットを変更した場合は、手順４の後でソフトウェアを再起動するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。
[はい]をクリックしてください。

環境設定ダイアログボックスでお勧めする設定について

デモ用のコンテンツ制作には必要ありませんが、環境設定ダイアログボックスで下記の項目を設定してお使いいただくようにお勧めします。

スケジュールプレイリストの自動送信設定（全グループ）セクション（この項目はスケジュール・アプリケーションの場合にのみ変更できます）
プレイリストおよび必要な素材を自動的にネットワークプレーヤーに送信するかどうかの設定を行います。
自動送信を行わない場合は、送信モードドロップダウンリストボックスで[禁止]を選択します。
いつでも自動送信を行えるようにする場合は、[許可（制限なし）]、夜間などの特定の時間にだけ自動送信を行う場合は[許可（時間制限）]を選択します。
自動送信を許可する場合には、送信できなかった場合にリトライする間隔（時：分）を、リトライ間隔の 2 つのテキストボックスで指定します。例えば、30 分ごとにリトライを行う場合は、「0:30」を指定します。[許可（時間制限）]を選択した場合は、さらに、自動送信を許可する時間帯を開始時刻および終了時刻スピンボックスで指定します。
送信中にエラーが発生した場合でも、すでに送ったデータの続きから効率よく自動再送しますので、[許可（時間制限）] に設定することをお勧めします。送信許可時間には、ネットワークプレーヤーのハードディスクのスリープ設定時刻(初期値は午前 3:00)を避けて、時間を設定してください。

手動送信時の自動再送設定セクション
プレイリストや素材を手動で送信する際、エラーが発生した場合に、自動的に再送信を行うかどうかを指定します。
送信中にエラーが発生した場合に、すでに送ったデータの続きから効率よく自動再送しますので、[する] に設定することをお勧めします。

NSP-100 とグループの登録

このシステムでは、ネットワークプレーヤーNSP-100 のグループを作成して、グループ単位でプレイリストを作成したり、作成したプレイリストや素材を送信したりすることができます。ひとつのネットワークプレーヤーを、複数のグループに所属させることもできます。

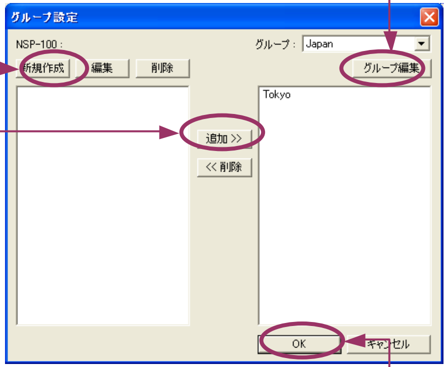
下の図は、「Tokyo」という名称の NSP-100 を登録し、「Japan」というグループを作成して、そこに Tokyo を所属させる方法を示しています。複数の NSP-100 およびグループを登録する方法については、オンラインヘルプや取扱説明書をご覧ください。

1 メインメニューで [グループ設定] をクリックします。

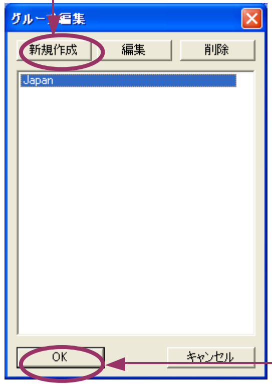
2 [新規作成]をクリックします。

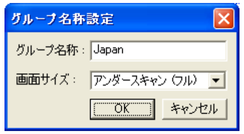
3 登録するNSP-100の名称「Tokyo」とそのIPアドレスをそれぞれの欄に入力して、[OK]をクリックします。

4 [グループ編集]をクリックします。



5 グループ編集ダイアログボックスで[新規作成]をクリックします。





6 グループの名称「Japan」を入力して、[OK]をクリックします。

7 グループ編集ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。

8 「Tokyo」のNSP-100を選択し、[追加>>]をクリックします。
「Tokyo」は右側のリストに移動します。
ご注意: グループドロップダウンリストボックスで、「Japan」が選択されていることを確認してください。右側のリストには、グループドロップダウンリストボックスで選択されているNSP-100が表示されることになっています。この例では、左側のリストには、「Japan」に所属していないNSP-100が表示されることになります。

9 グループ設定ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。

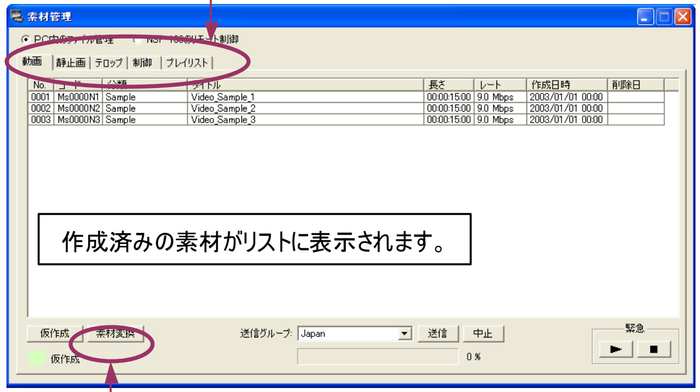
動画素材の準備

下記の手順で、Video_Sample_1 と同じものをサンプルの AVI ファイルから NSP フォーマットに変換してみましょう。

ヒント: ビデオ機器の映像から AVI ファイルを作成するためのキャプチャー機能も用意されています。詳しくは「映像のキャプチャー」(14 ページ)をご覧ください。

1 メインメニューで[素材管理]をクリックします。

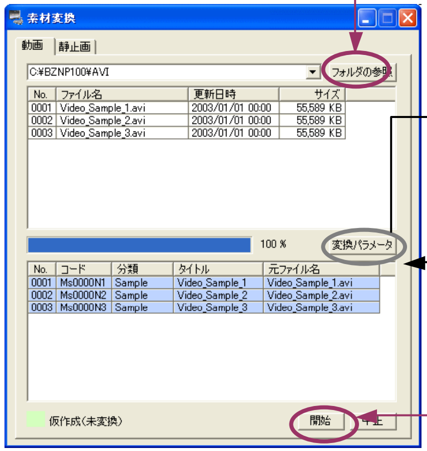
2 動画パネルを選択します。



作成済みの素材がリストに表示されます。

3 [素材変換]をクリックします。

4 [フォルダの参照]をクリックして、ソフトウェアがインストールされているフォルダの中にあるAVIフォルダを指定します。



ビデオレートはここで変更できます。

選択したフォルダに保存されている変換可能なファイルが上のリストに表示されます。
変換済みのファイル(素材)は下のリストに青色の背景色で表示されます。

5 上のリスト上で「Video_Sample_1.avi」を選択し、[開始]をクリックします。
または、「Video_Sample_1.avi」をドラッグ＆ドロップ操作で下のリストに移動させます。

静止画素材の準備

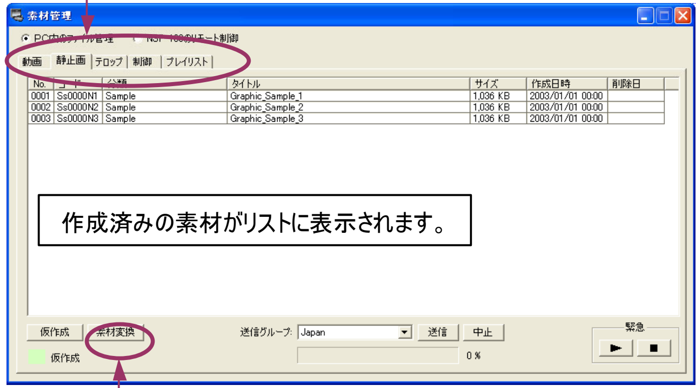
下記の手順で、Graphic_Sample_1 と同じものを、サンプルの bmp ファイルから NSP フォーマットに変換してみましょう。

Microsoft PowerPoint のスライドを静止画として使用するには

- Office 2000のPowerPointからはフルカラーのJPEGファイルがエクスポートできますが、bmpファイルにすると256色になってしまいます。フルカラーの静止画を使用するには、エクスポートしたJPEGファイルを何らかの方法でbmp形式に変換する必要があります。
- このシステムで取り扱える最大の静止画のサイズ(W×H)は、下の表のとおりです。信号の種類、アンダースキャン(フル)、オーバースキャン(88%)といったディスプレイの種類、PowerPointのバージョンによって異なります。PowerPoint上で、ページ設定を行う際にご注意ください。

信号	種類	ピクセル数	PowerPoint XP	PowerPoint 2000
NTSC	フル	720×480	25.40×16.94 (cm)	24.00×16.00 (cm)
	88%	630×420	22.25×14.82	21.00×14.00
PAL	フル	720×576	25.40×20.34	24.00×19.20
	88%	630×504	22.25×17.80	21.00×16.80

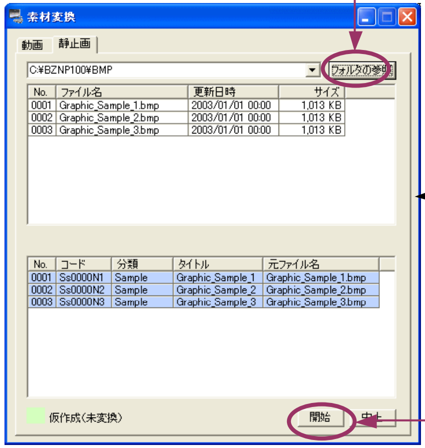
1 素材管理ウィンドウで静止画パネルを選択します。
素材管理ウィンドウが開いていない場合は、メインメニューで[素材管理]をクリックしてください。



作成済みの素材がリストに表示されます。

2 [素材変換]をクリックします。

3 [フォルダの参照]をクリックして、ソフトウェアがインストールされているフォルダの中にあるBMPフォルダを指定します。



選択したフォルダに保存されている変換可能なファイルが上のリストに表示されます。変換済みのファイル(素材)は下のリストに青色の背景色で表示されます。

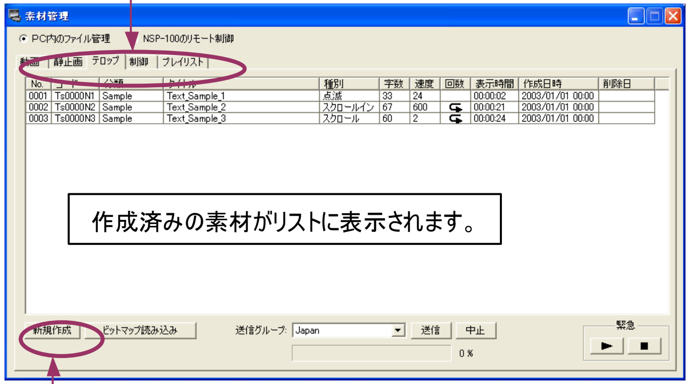
4 上のリスト上で「Graphic_Sample_1.bmp」を選択し、[開始]をクリックします。
または、「Graphic_Sample_1.bmp」をドラッグ&ドロップ操作で下のリストに移動させます。

テロップ素材の準備

下記の手順で「Text_Sample_1」と同じ、点滅するテロップ素材を作成してみましょう。

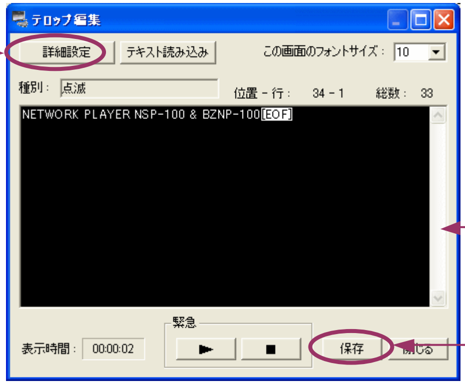
ヒント: テロップの文字を入力する代わりに、テキストファイルを使用する機能などもあります。
テロップ編集の機能について詳しくは、オンラインヘルプや取扱説明書をご覧ください。

1 素材管理ウィンドウでテロップパネルを選択します。
素材管理ウィンドウが開いていない場合は、メインメニューで[素材管理]をクリックしてください。

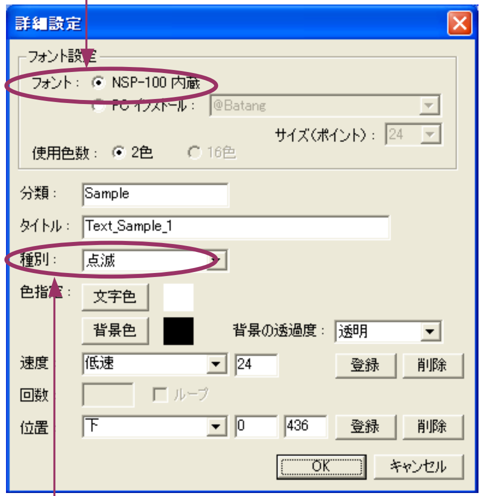


2 [新規作成]をクリックします。

3 [詳細設定]をクリックします。



4 NSP-100内蔵のフォントを選択します。



5 種別ドロップダウンリストボックスで[点滅]を選択し、その他の設定が図と同じになるようにしてから、[OK]をクリックします。

6 下記の文字を入力します。
「NETWORK PLAYER NSP-100 & BZNP-100」

7 [保存]をクリックします。
作成したテロップ素材が素材管理ウィンドウに表示されます。

プレイリストの作成

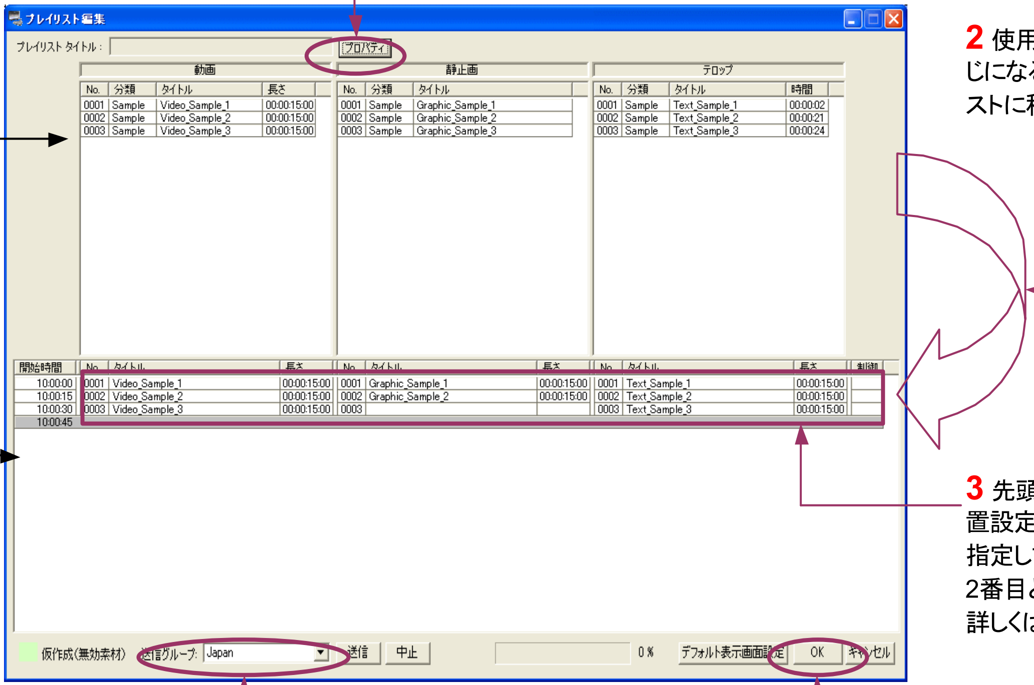
次に、素材を並べてサンプルと同じプレイリストを作成しましょう。

プレイリストは、画面上での動画やテロップの位置や送出予定などの情報も持っています。
ご注意: サンプルのプレイリストは「Japan」というグループ向けです。「Japan」というグループを作成しないと使用できません。

1 メインメニューで[プレイリスト編集]をクリックします。

4 [プロパティ]をクリックし、プレイリストの詳細情報を設定します。詳しくは、次ページ(11ページ)をご覧ください。

素材リスト



プレイリスト

2 使用する素材をひとつずつ選択して、図と同じになるようにドラッグ＆ドロップ操作でプレイリストに移動させます。

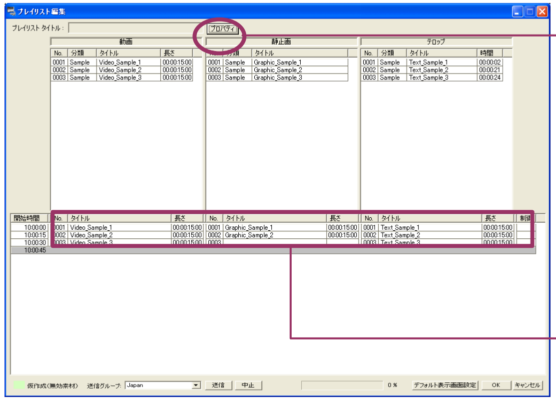
3 先頭の行を右クリックして、メニューの[表示位置設定]をクリックし、動画とテロップの表示位置を指定します。
2番目と3番目の行にも同じ操作を行います。
詳しくは、次ページ(11ページ)をご覧ください。

5 希望の送信グループ「Japan」が選択されていることを確認します。

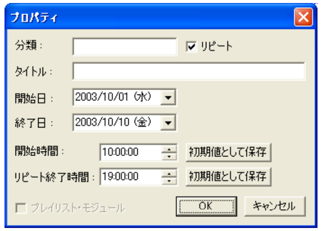
6 [OK]をクリックします。

ヒント: Ctrlキーを押しながらZキーを押すと、直前に行った操作がキャンセルできます。

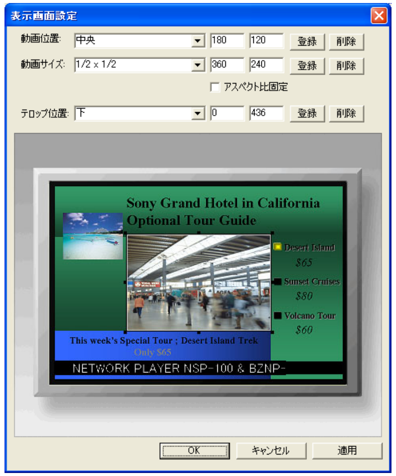
プレイリストの作成 - 続き



4 - **続き**
プロパティダイアログボックスの開始日および終了日ドロップダウンリストボックスで、それぞれ今日と10日後の日付を選択します。
また、リピートチェックボックスをチェックし、開始時間欄に希望の開始時刻を、リピート終了時間欄に終了時刻を指定して、[OK]をクリックします。



3 - **続き**
下図のように、表示画面設定ダイアログボックスで動画の位置とサイズ、およびテロップの位置を選択して、[OK]をクリックします。
ヒント: プレイリスト編集ウィンドウの[デフォルト表示画面設定]は、動画とテロップのデフォルトの位置を指定してするためのものです。デフォルトの位置は、個別に指定を行わないイベントに適用されます。



先頭の行

2番目の行

3番目の行

プレイリストと素材の送信

プレイリストと必要な素材は、簡単にネットワークプレーヤーNSP-100 に送ることができます。メインメニューをお使いください。

2 今日の日付(送信するプレイリストの送出日のいずれか)をクリックします。
グレーの枠が表示されます。

1 送信先のグループとして「Japan」を選択します。

3 [送信]をクリックします。
プレイリストと素材が、選択したグループのネットワークプレーヤーに送信されます。

カレンダーで使用される色

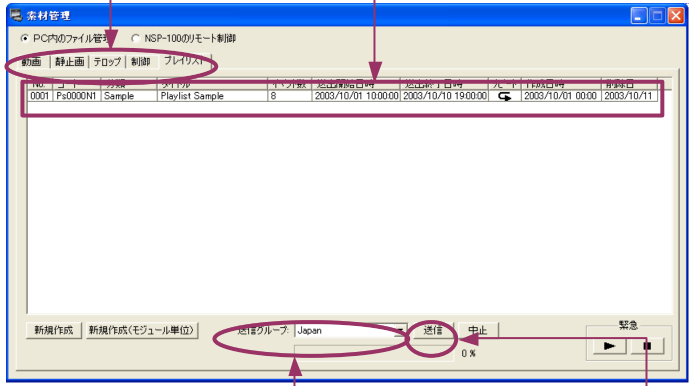
背景色	日付の色	意味
白	グレーまたは茶	非放送日
灰	黒または赤	未編成(プレイリスト未作成)
緑	黒または赤	編成中(プレイリスト作成中または作成済み)
水色	黒または赤	送信中(プレイリストおよび素材)
青	黒または赤	送信済み(プレイリストおよび素材)
黄	黒または赤	素材未送信
赤	黒または赤	送信エラーあり

ヒント: 素材管理ウィンドウのプレイリストパネルでは、下図のようにプレイリストを選択して、そのプレイリストで必要な素材とともにネットワークプレーヤーに送信することができます。この方法は、プレゼンテーション・アプリケーションでも使用可能です。

1 メインメニューで[素材管理]をクリックします。

2 プレイリストパネルを選択します。

4 送信するプレイリストをクリックして選択します。



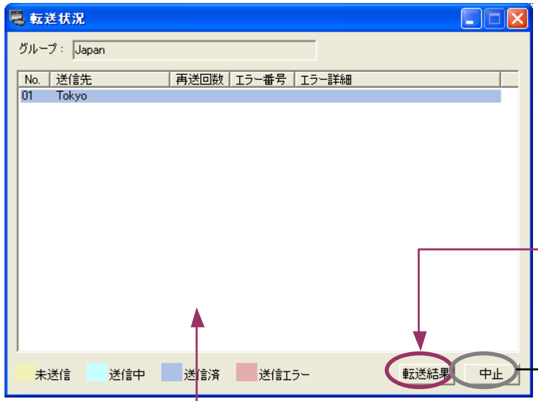
3 送信先のグループとして「Japan」を選択します。

5 [送信]をクリックします。
プレイリストと素材が、選択したグループのネットワークプレーヤーに送信されます。

転送状況と結果の確認

素材管理ウィンドウまたはメインメニューのカレンダーから送信したプレイリストおよび素材の転送状況および結果は、次の手順で確認できます。

1 メインメニューで[転送状況]をクリックします。



2 最後に送信を行ったJapanグループへの送信の状況が確認できます。

実行中、または最後に行われた送信の状況

背景色	状況
黄	未送信の素材があります
水色	現在送信中です
青	送信は問題なく完了しました
赤	送信中、エラーが発生しました

3 必要な場合は[転送結果]をクリックします。

ヒント：［中止］をクリックして、実行中の素材やプレイリストの送信を中止することができます。

4 すべてのネットワークプレーヤーについて、最後に行われた送信の結果が確認できます。

最後に行われた送信の結果

マーク	結果
なし	送信を行っていません
	送信は問題なく完了しました
	接続エラーが発生しました
	送信エラーが発生しました
	未送信の素材があります

これでデモ用のコンテンツを見るために必要な操作が完了しました。
プレイリストに指定した開始時間になると、「Japan」グループのネットワークプレーヤー「Tokyo」は自動的に送出を開始します。

付録-1　映像のキャプチャー

i.LINK(IEEE1394)ケーブルで接続されたビデオ機器があれば、その映像を動画素材として利用することができます。下の図は、映像をキャプチャーして AVI ファイルを作成する方法を説明しています。作成した AVI ファイルは、「動画素材の準備」(7 ページ)の手順で NSP フォーマットに変換できます。

ご注意: これは、このマニュアルの先頭に紹介されているデモ用のコンテンツを作成するのに必要な操作ではありません。
使用できるビデオ機器については、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」に記載されている窓口にお問い合わせください。その他のビデオ機器でも使用できる場合がありますが、機器によっては、キューアップやシャトル制御など一部の機能がお使いになれない可能性があります。

1 VTRとPCを i.LINKケーブルで接続し、VTRの電源をONにして、使用するテープをセットします。
また、メインメニュー以外のウィンドウを閉じます。

2 メインメニューで[動画キャプチャ]をクリックします。

3 [フォルダ]をクリックして、これから作成するAVIファイルの保存場所を指定します。

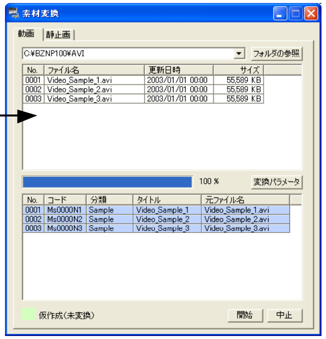
VTR制御部

4 VTR制御部で希望のイン点を頭出しして、[イン点]をクリックします。
その点のタイムコードが表示されます。

5 同様にアウト点を頭出しして、[アウト点]をクリックします。
アウト点のタイムコードと長さが表示されます。

変換時には

作成されたAVIファイルは素材変換ウィンドウのここに表示されます。必要な場合は、[フォルダの参照]をクリックして、手順3で指定したフォルダを選択します。



[ライブ録画] でライブ録画を行うことができます。
このボタンをクリックすると直ちにキャプチャーが始まり、[停止]をクリックするまで続きます。

6 [録画]をクリックします。
キャプチャーが始まります。キャプチャーは指定したアウト点で自動的に終了します。

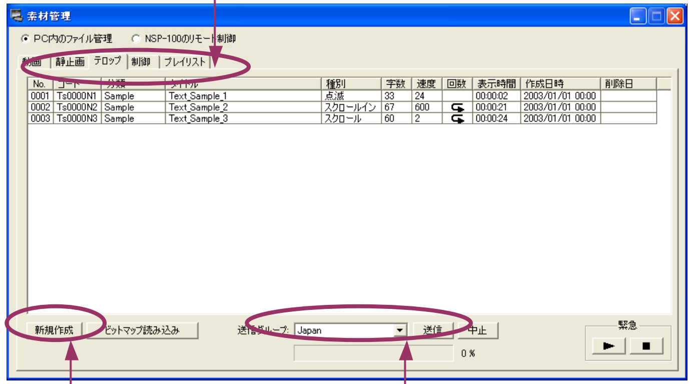
付録-2　テロップの緊急再生

このシステムには「緊急再生」の機能が用意されています。緊急再生機能は、選択した動画/静止画/テロップまたはプレイリストをネットワークプレーヤーに送信して、強制的に再生を行うものです。

ここでは、送出中の画面下部に強制的にテロップをスクロール表示させるための方法を説明します。緊急再生について詳しくはオンラインヘルプや取扱説明書をご覧ください。

1 メインメニューで[素材管理]をクリックして、素材管理ウィンドウを表示させます。

2 テロップパネルを選択します。

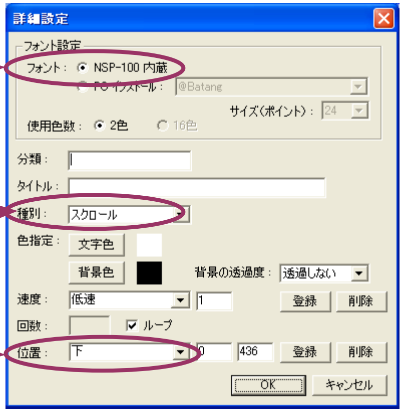


3 緊急再生を行うグループを選択します。

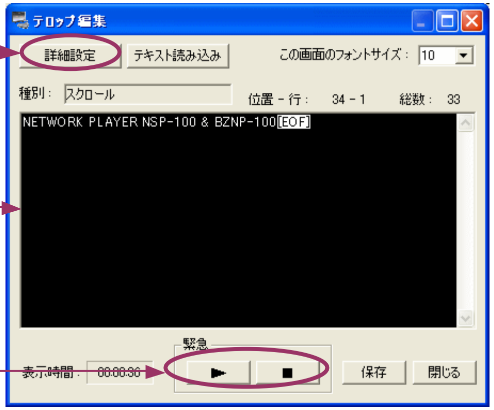
4 [新規作成]をクリックします。

5 [詳細設定]をクリックします。

6 NSP-100内蔵フォント、[スクロール] および[下]を選択して、[OK]をクリックします。



7 表示させる文字列を入力します。



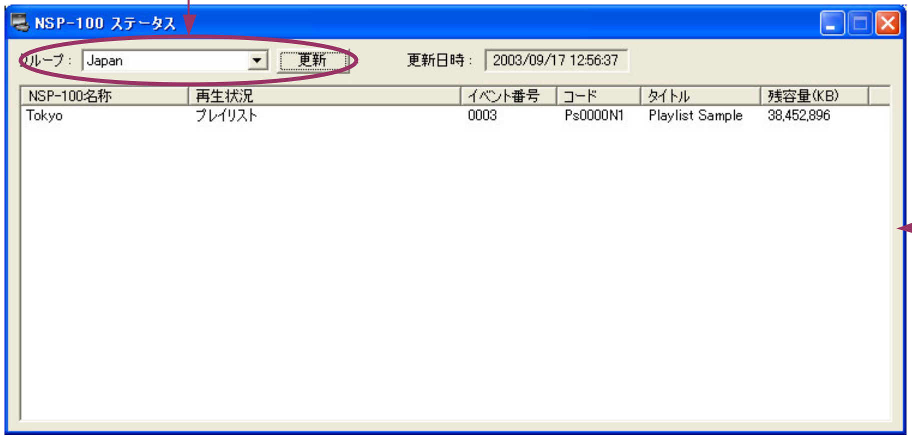
8 再生ボタンをクリックします。
入力したテロップが選択したグループのネットワークプレーヤーに送信され、ネットワークプレーヤーの画面上に表示されます。
緊急再生が終わったら、停止ボタンをクリックしてください。

付録-3　ネットワークプレーヤーのステータスの確認

次の手順で、ネットワークプレーヤーのステータスとハードディスクドライブの残容量を確認できます。

1 メインメニューで[NSP-100ステータス]をクリックします。

2 希望のグループを選択します。
希望のグループがすでに選択されている場合は、[更新]をクリックします。



3 選択したグループに属するネットワークプレーヤーのステータスとハードディスクの残容量を確認します。
再生中の場合は、再生しているプレイリストや素材の情報も表示されます。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35
http://www.sony.co.jp/